

陸上自衛隊・第12旅団創立17周年

相馬原駐屯地創設59周年記念

April 14, 2018



力・団結・誇り
Power Cohesion Pride

二年振りの参加も

依然意気軒昂!

鬼の霍乱でしょうか・・・?
昨年は開催真際に体調を崩して無念の不参加でしたが、今年はシニア会の友人を誘ってどうか観覧に漕ぎ付けました。

友人は、専らトレッキング絡みの風景写真に取憑かれた根っからのカメラ好きですが、たまに戦車部隊の頃に一度体験した事があると云うので、ならばと、自慢の桜並木を話題に誘って見た処、開口一番、今年はまだ「桜は何処も時期外れ」だと云って、あまり気乗りのしない様子でしたが、負けじと葉桜に囲まれて色鮮やかに咲く八重

桜や12旅団の壮大なパレード、迫力ある模擬戦にヘリのホバリング等々、部隊の様変わりや記念行事の現状を語ると、次第に興味を示して漸く快諾してくれたと云う訳です。

まさか戦車部隊の話が出るとは意外でした。何せ戦車はM4以来、私を自衛隊の虜にしてしまった原点であり、師団に配備され心熱くさせた頃を偲ぶ、思い出深い話でもあります。

今や「相馬原」は近代化を図り、ヘリを主力とした陸自唯一の「空中機動旅団」として広くその名を知られ、創立記念日も成れば近隣から多くのファンや支持者が押し寄せ、「桜祭」と銘打った地域ぐるみの一大行事として親しまれ、すっかり定着しています。

話題の桜並木は、この日限定のシャトルバスを降りると、目の前に軒を連ねる野外売店を覆うように立ち並んでいます。やはり今年は一面の葉桜です。それでも友人は、早速咲ほころぶ一株の八重桜を見つけてシャッターを切り捲っていました。飛行場沿いのフェンスをいくと、入り口に「祝・創立記念」の横断幕が掲げられ、来場者を迎えてくれます。まず、受付で簡単な手荷物検査を受けて会場へ入ると、エプロン前の観覧席や規制線の張られた一般用の席は、もう人で一杯です。早々と式展開前日から詰め駆

